

《小学生の部》
佳作（警察庁交通局長賞）

香川県高松市立円座小学校
1年 山崎 榎太

ぼくのとうこう

「りょうたのおかあさんは、いつまでいっしょにとうこうするの。」
あさ、ぐうぜんあったともだちにしつもんされました、ぼくはへんじができませんでした。五がつになるとじぶんだけでとうこうするこがふえてきました。
そのひのよる、おかあさんになぜいっしょにとうこうするのかしつもんしました。
「しんぱいだから。でもそれだけではないんだよ。みんなあんぜんにこころがけているとおもうけど、もし、じこやけがをしたときにどうたいおうする。たとえばじてんしゃとぶつかったとき。ともだちがようすいろにおちたとき。」
ぼくは、
「ほけんしつまではしってたすけをもとめる。」
とこたえました。
「たすけをもとめるのはたいせつだね。でもがっこうからとおかったり、うごけられないうきはどうする。」
ときかれて、なやみました。
そのあと、かぞくみんなでつうがくろのきけんなばしょや、じこやけがをしたときにどうたいおうするかもはなしました。ぼくがじこやけがのないようにできることは、きけんなばしょをしっておくこと。そして、まわりをよくみること。ふあんなときはいちどたちどまることだとおもいました。もし、ふあんなことがあってもたくさんちいきのひとや、おにいさん、おねえさんがみまもってくれています。
とうこうちゅう、しょうがっこうのちかくのおうだんはどうでおかあさんとおわかれです。ぼくはもう、ひとりでとうこうできます。でも、おかあさんとむしやはなのはなしをしながらいっしょにとうこうするのがたのしみです。
おうだんはどうにちかづくとこうちゅうせんせいや、ちいきのかたがまいあさみまもつてくれているのがみえています。
「おかあさんいってきます。」
「きょうもたのしんでおいで。」
と、いつものハイタッチをしておうだんはどうをわたります。きょうもみんなにみまもら

れながら、げんきにがっこうへいってきます。